

授業科目

臨床栄養学II

【担当教員名】 渡 邊 榮 吉	対象学年	3	対象学科	健栄
	開講時期	前期	必修・選択	必修
	単位数	2	時間数	30

【概要・一般目標 : G10】

臨床栄養学 I で学習した疾患、病態をさらに発展させ、諸疾患に関する十分な知識を修得するとともに、栄養学的見地からの疾患、病態・病期における診断に適切な栄養療法の選択を学ぶ。

【学習目標・行動目標 : SBO】

- 傷病者の病態や栄養状態に基づいた適正な栄養管理を理解する。
- 栄養アセスメントに基づいた栄養ケアプランの作成、実施、評価に関する総合的なマネジメントの考え方を理解する。
- 臨床栄養に必要な知識と技術の応用力を身につける。

回数	授業計画・学習の主題		SBO番号	学習方法・学習課題備考・担当教員
1	代謝疾患	高尿酸血症と痛風の病態と栄養療法	1~3	講義
2		骨粗鬆症の病態と栄養療法	1~3	講義
3		先天性代謝異常 I (アミノ酸、有機酸代謝異常) の治療と予後	1~3	講義
4		先天性代謝異常II (糖、脂肪代謝異常) の治療と予後	1~3	講義
5	循環器疾患	虚血性心疾患の病態と栄養療法	1~3	講義
6		うつ血性心不全の病態と栄養療法	1~3	講義
7	循環器疾患	呼吸器疾患の病態と栄養療法	1~3	講義
8	腎疾患	糸球体腎炎とネフローゼ症候群の病態と栄養療法 I	1~3	講義
9		糸球体腎炎とネフローゼ症候群の病態と栄養療法 I	1~3	講義
10		急性腎不全の病態と栄養療法	1~3	講義
11		慢性腎不全の病態と栄養療法 I	1~3	講義
12		慢性腎不全の病態と栄養療法II	1~3	講義
13	その他	臨床栄養学実習IIIに必要な知識の学習 I	1~3	講義
14		臨床栄養学実習IIIに必要な知識の学習 (入院食事療養費) II	1~3	講義
15	まとめ		1~3	講義

【使用図書】	【書名】	【著者名】	【発行所】	【発行年・価格 他】
教科書 (必ず購入する書籍)	特に指定しない			
参考書	病態栄養ガイドブック 今日の病態栄養法	日本病態栄養学編 渡辺明治	メディカルレビュー社 南光堂	2008・3, 500円 2008・3, 200円
その他の資料	プリント			

【評価方法】

出席状況、授業態度、定期試験から評価

【履修上の留意点】